

業界全体へ提言、発信したい MPT渋谷に衝撃受けマルハンへ

遊技機委員会委員長 内藤裕人



の後店長職を目指そうと思い始めた頃、1995年にオープンしたMPT渋谷に衝撃を受け、東京初進出した株式会社マルハンの存在を知り入社しました。

静岡、神奈川、東京などの店舗の転勤を繰り返しながら店長職を5年程経験し、2004年から現職として東京上野のマルハンアカデミーに勤務しております。職務内容としては、営業部門の専門職として、経験や勘も大切にしながら、情報やデータの収集と分析を通じたマーケティング活動。また営業活動に直結する内容に関しての教育、育成を主たる業務としております。

私の日遊協との関わりは、数年前の当該部会「未来遊技機部会」、前委員会「遊技機開発委員会」に委員として出席させていただいた中、今期の委員会再編成により前委員長より引き継がせていただく

こととなりました。

「遊技機委員会」の運営方針・内容に関しては、現段階では委員会で委員との意見

収集を行いながら絞り込んでゆく過程にあります。昨今の業界情勢を鑑みると、やはり遊技機に対しての期待や要望を唯一の業界内の横断的団体として利害関係で考えるのではなく、「利」に資する要件を会員企業のみならず、更には業界全体への提言、発信を目指し活動して行きたいと考えております。

また、本年は6月1日、2日と「ベルサール秋葉原」にて開催されました「もつと楽しく!!もつと遊べる!!パチンコ&パチスロフェスタ」

て厚く御礼申し上げます。なお、今回のフェスタは本来「遊技機アワード」と併せ年度末の開催をベストなタイミングと設定しておりますが、東日本震災後の活動休止期間などもあり6月初頭の開催となりました。次回より「遊技機アワード」は年度末(2013年2~3月)に開催し毎年定例化。「フェスタ」



の次開催に向けた準備、企画を前委員会から引き続き行います。今回もたくさんの業界関連団体、企業にご協力を頂き盛況のうちに無事開催できたことをこの場をお借りし

今期より遊技機委員会の委員長を拝命致しました。今回は初めての委員長メールでもありますが、併せて今後の遊技機委員会の活動方針に触れさせていただきます。

新潟県長岡市出身で昭和46年生まれ、今年で41歳になります。いわゆる本厄といわれる年齢を迎えました。この業界へはパチンコの趣味が高じて学生時代にアルバイトとして働き始め、前職の企業にそのまま正社員として入社し、そ



にこやかに抱負を語る内藤委員長

の次開催に向けた準備、企画を前委員会から引き続き行います。今回もたくさんの業界関連団体、企業にご協力を頂き盛況のうちに無事開催できたことをこの場をお借りし

まだまだ勉強不足な点もあり、皆様のご指導ご鞭撻、またご協力を賜りながら円滑に実りある委員会活動を目指します。何卒よろしくお願致します。